

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 3 月 16 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491700096		
法人名	株式会社ディア・レスト福山		
事業所名	グループホーム松花園		
所在地	広島県府中市上下町上下851番1 (電話) 0847-62-8322 (FAX) 0847-62-8323		
自己評価作成日	平成26年11月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成26年12月16日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

職員一同が企業理念である「ひとにやさしい介護を目指して」の実現に向けて取り組んでいます。利用者様の安心安全はもとより、ご家族様にも安心していただけるよう地域の皆様との交流を大切にし、またご理解とご協力をいただきながら医療機関と連携により利用者様方がいつまでも健康でその人らしく、穏やかに、笑顔で過ごしていただける様努めてまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホーム松花園（以下、ホーム）は、JR上下駅近くに位置し、近隣にコンビニエンスストアや病院、商店街があります。天領として栄えた歴史ある町並みに溶け込んだ平屋建てのホームです。  
企業理念の「人にやさしい介護をめざして」を職員全体で実践できるよう、研修の充実やオン・ザ・ジョブトレーニングを取り入れた人材育成に努めておられます。ホーム長は職員とのコミュニケーションを大切にし、意見が言いやすい関係づくりに努め、入居者の思いを尊重しながらチームでケアに取り組むよう努力されています。  
また、ボランティアを積極的に受け入れたり、市や観光協会、町内会から行事で使う物品を借りたり、地域住民や関係機関と協力関係を築きながら、地域密着型事業所として地域に根ざした運営に取り組まれています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（花棟）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	自施設独自の理念は作っていないが、会社の理念は目につく所へ貼り、意識を高めている。	ホームでは、毎朝、理念とともに行動指針十か条を唱和し、理念の共有化を図られています。ホーム長と職員はコミュニケーションを綿密にとりながら、入居者の立場に立った「人にやさしい介護をめざして」をチームで取り組む努力をされています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のイベントや祭りなどに行くよう計画を立て参加している。また、地域のなじみの店へ買い物できるよう支援している。	自治会には加入されていませんが、地域の一員として町内の溝掃除や地域行事に参加し、地域住民の理解を得られるよう努力されてきました。ホームの秋祭りには、ボランティアや地域住民の参加もあり、入居者と交流されています。また、中学校の職場体験の受け入れも行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	自施設の行事に地域の方、ボランティアを招き、取り組みを見て頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	自施設での行事や取り組みを報告したり、他施設での取り組み情報を頂き参考にしていきたい。	会議には、家族代表、民生委員・児童委員、自治会長、市職員、警察署員、消防署員などの参加があります。会議では、ホーム便りを参考に状況報告されています。警察署員や市担当者から情報提供があったり、自治会から行事の協力依頼があったり、情報交換、意見交換が活発に行われています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町の行事に参加したり、地域の会議や運営推進会議のなかで情報を交換できている。	運営推進会議に市職員の参加があります。地域包括支援センター主催の地域ケア会議に職員が出席し、協力と連携を深めておられます。市役所には、情報提供用のホーム専用ボックスが設置され、連絡・相談が取りやすい仕組みがつけられています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	見守りを強化し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。夜間、玄関は施錠している。	法人全体で「高齢者身体拘束及び虐待事例」について研修を行い、職員への理解を深めておられます。月1回の虐待防止委員会やミーティングで、言葉による拘束や具体的な行為について周知されています。帰宅願望の強い入居者には、職員と一緒に庭を散歩して気分転換できるように支援されています。また、ユニット間を自由に行き来できるため閉塞感のない環境が整えられています。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	研修の機会を持ち、それぞれ自覚を持ったケアを行うよう心掛けている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	研修の機会を持っていないが、必要性がある場合は、ご家族に相談している。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約前に家族やご本人様に見学して頂き、十分時間をかけ、納得した上で契約している。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	面会に来られた際など、ご家族が意見・要望が言い易いような対応に努めている。	家族に毎月のホーム便りで行事や入居者の状況報告を行ったり、行事の参加呼びかけを行ったり積極的に情報発信されています。また、面会時や電話、行事の時に話す機会を設け、意見や要望を言える環境をつくられています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体のミーティングを設けて、業務など気付きが言える、考えられる場を作っている。</p>	<p>職員間の関係が良く、意見が言いやすい環境です。食事やレクリエーションなど各種委員会を設置し、それぞれの分野で出された意見や提案を運営に反映されています。職員から特殊浴槽の設置について提案が出され、ホーム長から法人に意見を伝え、実現に向けて検討されています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>特に新人スタッフには、思いや考えを聞く等のコミュニケーションの場を作り、心のケアに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設外の研修にも参加するようFAXが届いたら閲覧している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>月1回のケア会議に参加したり、研修等のできたネットワークを活用し、取り組んでいる。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前情報をフルに活用した上で、ご本人と関わり不安を取り除き、良好な関係が築けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	ご家族の不安に感じておられる事を取り除けるよう傾聴するよう努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	契約後に、ご家族・ご本人に希望をたずね、できる限り希望に添った生活ができるよう努める。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	職員の知らない昔の事や知恵などを教えてもらいながら生活を共にしている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	家族との連携を大切にし、行事等への声かけも行っている。変わった事がある場合は、電話連絡を常に行っている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	随時面会も受け付けており、馴染みの店を利用するなど関係を保っている。	家族や友人の訪問があります。地域で行われる伝統行事の参加やショッピングセンターへの買い物などを支援されています。また、家族の協力を得て帰宅したり、墓参り、馴染みの美容院に出かけたりする入居者もおられます。外出先で馴染みの人に出会うこともあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一人ひとりの状態や性格を把握し、共通の話題で会話できるよう橋渡しをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	いつまでも関係を断つことなく立ち寄り続けるような雰囲気作りをしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを取ることで希望を聞いたり、言えなくても感じていることを汲み取り、スタッフで話し合う場を設けている。	入居者ごとに職員の担当制を設けておられます。日々の会話や仕草、表情で思いや意向の把握に努めておられます。モニタリング時には、入居者と1対1でコミュニケーションを取り、把握した思いや意向は、毎日の申し送りで共有し、本人本位の支援に活かされています。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面接時にこれまでの生活歴をたずねると共に、生活していく中で生まれる習慣を随時家族に聞くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	体調の変化やいつもと違う様子を記録に残す等して皆で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族からの希望、本人の希望等、何でも話して頂き計画的に反映させている。</p>	<p>ケアマネジャーと担当職員が6か月ごとにモニタリングを実施されています。モニタリングと同時にカンファレンスを開催し、ケアマネジャーを中心に介護計画を見直されています。職員の意見を積極的に求め、必要に応じて医療と連携を図りながら介護計画を作成されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>細かい事でも記録に残し、記録を読むことで情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>迅速に対応するよう心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域とのつながりが切れないよう、民生委員や近所の方にどんどん来園して頂けるよう努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医による往診を受けている。緊急時の対応も可能となっている。</p>	<p>ほとんどの入居者が協力医療機関をかかりつけ医とされています。家族の対応が基本ですが、困難な場合はホームで支援されます。医療情報は、面会時や電話で家族と共有されています。2週間に1回、協力医療機関の内科、外科の往診があります。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>介護職員は、日々の情報や気づきを常に報告・相談し、迅速に対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者とは、都度、情報交換や相談ができ、安心して治療ができています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人・ご家族様の意向を重視し、看取りを希望される際には十分に説明を行いながら支援している。</p>	<p>契約時にホームでできることを説明されています。ホームでは、家族の希望があれば医師と相談しながら看取る方針を持たれています。チームで支援するために、常に相談、連絡が取れる体制を整えられています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>定期的に園内勉強会などで実践できるようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回、消防署指導のもと、防火避難訓練を行っています。</p>	<p>年2回、災害訓練を実施されています。26年度は、消防署立合いのもと、夜間を想定した通報・誘導・消火訓練が行われました。ホームに薪暖炉があり、火災等に気をつけるなど管理を徹底されています。市担当者から、消防訓練に家族を巻き込んでどうかという意見が出されています。</p>	<p>運営推進会議に町内会長をはじめ、消防、警察の出席があります。今後は、災害時にホームが地域に協力できることを伝えたり、会議メンバーの協力を得ながら地域住民や家族にも訓練の参加を呼びかけたり、協力体制の構築に向けて取り組まれることを期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	園の基本方針にもあるように、プライバシーを尊重し、快適な生活ができるよう言葉かけや対応には注意しています。	職員は「自分だったらどうしてほしいか」を考え、自分たちのケアを振り返りながら支援されています。人生の先輩として入居者の人格を尊重した言葉かけや対応に配慮されています。また、入居者のできることや得意なことを役割として発揮できるように支援されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いや希望を表したり、自己決定できるようにコミュニケーションを図り、信頼関係を作るように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	時に職員の都合を優先していると思いますが、できる限り希望に添えるように心掛けております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	意思表示される方は自由にされている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	園の畑でできた野菜と一緒に収穫し、調理スタッフに使って頂いている。食べ終わった膳は、カウンターまで下膳されています。	食事は職員の手づくりです。入居者は、食器洗いやテーブル拭きなど、できることを役割として手伝われています。うどんづくりやそうめん流しを、家族やボランティアと楽しんだり、職員と一緒に誕生日ケーキをつくったり、中庭で食事を楽しむなど、季節に応じて楽しく食事できるよう工夫されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量、分量は常にチェックして記録に残しており、一人ひとりに合った食事形態(トロミやミキサー)にし、量も調整できるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、その人に合った方法で(口腔状態で)ケアをしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、声かけや見守りなどをし、自立に向けた支援に努めている。</p>	<p>トイレは3か所あり、手すりが設置され車いす対応可能です。男性用立位式便器も完備されています。入居者一人ひとりの排泄リズムに合わせて、仕草や様子を見ながらさりげなく声かけ誘導されています。早めのトイレ誘導により失敗が少なくなった事例もあり、状況に応じて支援されています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘の原因を理解し、看護師、医師とも相談しながら、食事・水分・運動など個々に工夫した働きかけをしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>できる限り希望に応えられるようにしているが、夜に入りたいという希望については難しい部分もある。</p>	<p>広い浴室にエアコンを設置し、温度差に配慮されています。入浴は週3回を基本とし、言葉かけやタイミングに配慮しながら支援されています。必要な場合は、2人体制で介助されています。また、希望があれば同性介助も可能です。時には入浴剤を使用し、ゆっくりとお湯に浸かり温まるように工夫されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	本人の意思に基づき、自由に急速していただいている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の変更があれば、その都度確認し、連絡ノートや日誌などで確認できるようにしています。また、利用者様の症状の変化にも早期に気付くよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	季節を感じて頂くため、お花見会、夏祭り、お月見会、クリスマス会などの行事を開催したり、近所へ買い物に出かけたりと気分転換できるよう支援に努めています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している。	できる限り外出の希望があれば希望に添えるようにしている。また、遠方の外出については、ご家族様に相談し、協力して頂ける範囲内で出かけられるよう支援しています。	普段は、ホームの庭で散歩を楽しまれています。年間行事を計画し、花見や紅葉狩り、ショッピング、自宅への外出など入居者の希望を聞きながら支援されています。また、ひな祭り、菓子祭り、端午の節句祭り、あやめ祭りなど、地域の伝統行事にも積極的に出かけておられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	理解できる方は、お金を自分で所持されている。その他の方は、希望に応じて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>各居室に電話回線が引けるようにしており、個人で電話を持ち込まれている方もおられ、ご家族や友人、ご近所の方とお話しをされている。また、電話の訴えがあれば事務所の物を利用して頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>天然木材、土壁を使用しており、居室は個室になっています。台所はリビングと対面式になっており、利用者とコミュニケーションを取ることもできます。薪ストーブが据え付けてあり、温かみある癒しの空間作りとなっている。</p>	<p>玄関ロビーにはテーブルと椅子が置かれ、訪問者が談話できるように配慮されています。リビングは、和の雰囲気落ち着きのある空間です。薪暖炉が設置されたリビングは、暖かい雰囲気を醸し出しています。室内には、入居者と職員の協働作品が飾られています。ソファを設置し、入居者がゆったりと居心地良く過ごせるよう工夫されています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有空間については、プライバシーに配慮しながら過ごして頂けるようにしている。ソファでテレビを見られたり、話しをされる等、自由に過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には、使い慣れた家具や好みの物（写真など）を持って来て頂いています。</p>	<p>居室には、クローゼット、洗面台、エアコンが備え付けられています。入居者は馴染みの家具や好みの布団を持ち込まれています。机や椅子、家族写真、好きな歌手の写真やポスターを掲示するなど、居心地良く過ごせるよう工夫されています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>バリアフリー構造になっており、トイレや居室にも表示をして分かり易くしています。</p>		

V アウトカム項目（花棟）			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（松棟）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	自施設独自の理念は作っていないが、会社の理念は目につく所へ貼り、意識を高めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の催し等に積極的に参加している。施設の催し等には、地域のボランティア、企業、住民の方が参加され交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	自施設の行事に地域の方、ボランティアを招き、取り組みを見て頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回会議を行い、前回の反省を踏まえ、取り組みを報告している。地域の方から地域の状況等の説明を受け、サービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業所管理者、ケアマネジャー等が担当者との連携・面談を行い、施設の取り組みを伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	全ての職員が身体拘束について正しく理解し、利用者のケアに取り組んでいる。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	施設内で定期的に勉強会を行っている。施設内にて虐待防止の話し合いを行い、職員同士で防止や見過ごさないように行っている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	研修の機会は持っていないが、必要性がある場合は、ご家族に相談している。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約前に家族やご本人様に見学して頂き、十分時間をかけ、納得した上で契約している。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	定期的に運営推進会議を開催し、利用者家族、地域の福祉関係者等の参加により、意見等を聞き、運営に反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の事業所会議を開き、運営やケアサービスの向上について意見を出し改善している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員は、日々ケアの向上に向けて職員同士で意見の交換を行っている。職場内を明るく雰囲気作りに努め、各職員がやりがいをもちてケアに活かしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設外の研修に参加し、職員の技術やケアの方法を学んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者との交流を深め、施設内外でネットワーク作りやイベント等の参加等、交流の幅を拡げつつある。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の不安を排除する為、本人からの要望、困り事等を聞き、的確なアドバイスを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の家族様が来られた時には、要望等を聞き、施設で対応を十分に説明しながら利用者本人に合うサービス提供をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者本人が生活していく上で、困り事を職員が見極め、その人に寄り添った対応を行うようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は利用者と接する際は、お互いの立場を考えつつ協力して生活する者の一人として接している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様が来所された際、施設での生活の様子を細かく伝え、利用者の思いやこれまでの生活歴を家族様と一緒に聞き、サービスの方法を検討している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの方が来所された時は、時間が許す限り接して頂く。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者同士が話せる場を提供し、お互いが打ち解けるよう色々な事について話し、職員も一緒に話す事で利用者間の支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>管理者、ケアマネジャー等が利用が終了しても随時連絡を取り、状況を聞いている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々困り事等に耳を傾け、その都度、困り事に対しては、職員、利用者と一緒に話し、問題解決に努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>一日の中で利用者本人が自身でしたい事が出来るよう、時間の制限を少なくし、本人の意志で暮らしていただけるよう配慮している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>職員の一方向的な介助を行わず、利用者自身の力で生活をするようにしている。難しい場面では最小の介助にて本人の自己の力を引き出している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	職員、家族、関係者と定期的にカンファレンスを行い、現状の様子、今後の要望を聞き、次のサービス提供に反映している。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	介護記録に細かく記載し、その方の情報を職員、管理者間で共有しており、実践や介護計画の見直しに活用している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	利用者のADL、ニーズを把握し、職員・管理者または外部関係者等からの状況を聞き、その方に合ったサービスの発見を行っている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	管理者・ケアマネジャーは、外部関係者と情報を共有し、地域資源を活用出来るように職員にも発信し支援を行っている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	日頃から利用者の身体の状況を介護記録に残し、利用者の要望をかかりつけ医に伝え、本人が納得される医療を受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>介護記録に残し、看護職員に伝え往診等行えるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の病歴等を記入した書類を作成し、病院関係者との情報交換が行えるようにしており、治療や早期退院に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人・ご家族様の意向を重視し、看取りを希望される際には十分に説明を行いながら支援している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。AED、喀痰吸引を設置し、急変や事故発生時の対応に備えている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>職員・管理者が避難訓練を行い、また、地域との協力関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者に対しては、「～さん」呼名で呼んでいる。利用者の居室を訪問する時、必ずドアをノックして入室している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者本人から思いに対しては傾聴し、納得出来るような言葉かけを行っている。本人の自己決定には、さまざまな選択肢を出した中から自ら決定するよう促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員側の決まり事は最小にとどめ、利用者が自らのペースで生活出来るよう時間に余裕を取り支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服装等、その人の好みを聞き、着衣するようにしている。洗顔、整髪等の声かけを行い、自ら行うよう声かけをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備、下膳、片付け等、出来る限り利用者自身で行い、「ありがとう」等感謝の声かけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>利用者毎の食事量、水分摂取量を確保出来るよう把握し、記録に残していく。食事中の状態を職員が確認、把握する。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>利用者本人での口腔ケアが難しい場合、職員が介助している。自力可能な利用者は声かけを行い、さりげなく確認している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者個々の排泄パターンを把握し、声かけや誘導を行っている。排泄の失敗を減らす為、早目の声かけ、誘導を実施している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>朝食時の牛乳の提供を行い、便秘予防している。便秘時、水分補給を増やしたり散歩等を行えるよう声かけをしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日の利用者に対しては、朝入浴を伝え、時間が可能な限り本人希望の時間に入浴していただくように促している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>定期的なシーツ交換や布団を干す等行っている。休息・睡眠等、本人が希望する時間に休まれるようにしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬の確認や体調の様子を聞き、症状の変化がある時は、医師・看護師に報告している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>居室にて利用者本人が希望する事をして頂き過ごされる。利用者が役割を持つた時には声かけをしている。難しい所は、職員と一緒にしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節に合わせて行事等を伝え、希望があれば外出する。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>物品購入の際、本人と同行し使えるように手伝いを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話をする時は、電話番号を伝え押ししてもらったりしている。難しい場合、職員が掛けて利用者に電話を渡している。手紙のやり取りができるよう投函したりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間は毎日清掃を行い、清潔に保っている。室温、湿度の調整を行い、快適な空間の維持に努めている。壁に季節毎の絵を貼り、季節感を演出している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間にテレビや大小のソファを配置し、一人になられたり、利用者で思い思いに過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には本人様が自宅で使用されていた物を持ち込みできるよう配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>共用部分には表示をして利用者自身で動けるような工夫を行っている。</p>		

V アウトカム項目（松棟）			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム松花園

作成日 平成 27 年 4 月 7 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	市担当者から, 消防訓練に家族を巻き込んでどうかという意見が出されている。	運営推進会議にて, 町内会, 家族に呼びかけを行い, 訓練に参加していただく。	2か月に1回の運営推進会議にて, 訓練の日程が決まり次第, 報告し, 参加の呼びかけを行う。	4月, 10月の訓練までには目標を達成する。
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。